

いよいよ鷺沼駅周辺が生まれ変わります

「鷺沼駅周辺まちづくり推進事業」が川崎市総合計画に
 民主みらい川崎市議会議員団 団長 おだかつひさ

12月議会に提出された次
 期「総合計画実施計画素案」

で、正式に「鷺沼駅周辺ま
 ちづくり推進事業」が位置
 づけられました。「鷺沼駅
 を中心に高齢者等の多様な
 ライフスタイルに対応した
 都市機能集積および交通結
 節機能の強化に向けた取り
 組みを推進する」としてい
 ます。

これにより10年来の懸案
 がついに動き出します。

◎本格的な「高齢化」を見
 据えた街づくりを

駅周辺の土地利用、交通
 環境の改善については、東
 急電鉄と宮前区の市民、市

役所の三者による共同作業
 です。この作業が円滑に進
 むように議員の立場から取
 り組みを進めてきました。

実現すれば、区役所や聖
 マリ医大病院直通等のバス
 路線の新設検討など、交通
 アクセスの大幅な改善が可
 能となります。併せて駅周
 辺に医療・福祉施設、さら
 には市民憩いの場や商業施
 設の再整備なども期待でき
 ます。

「まちづくり研究会」で
 参考にする「土地利用方針
 電鉄と「まちづくり研究会」
 を発足させて「官民連携の
 協議のテーブル」をつくる
 こと提言。その上で「東急
 沿線まちづくりに関する包
 括連携協定」の締結を目指
 すことを議会において提案
 してきました。重ねての質
 疑が実を結び、昨年6月の
 協定締結となりました。

◎平成29年度末までに、具
 体的な整備内容を策定予定
 「まちづくり研究会」で
 の協議を経て、昨年3月に
 策定された「土地利用ゾー
 ニング案」では、鷺沼駅周
 辺の街づくりの方向性とし
 て「駅を中心としたまちづ
 くりやアクセス向上の取り
 組み」が確認されました。
 さらに本年3月末までに策
 定予定の「土地利用方針
 (案)」では、「駅前ロータリ
 ーの拡充」と「バス路線の
 充実」が主要な機能として
 位置付けられる予定です。
 バスによる鷺沼駅へのアプ
 ローチの改善が最大の目的
 となっているのです。

◎平成30年度当初より、直
 ちに整備に入るよう要望
 平成28年度から2年間を
 かけて、駅前広場や駅舎な
 どを含め、再整備に向けた
 具体的な計画内容が検討さ
 れます。これからも積極的
 に情報提供に努めます。

◎東急電鉄との「包括連携
 協定」の締結を実現
 鷺沼駅周辺の基盤再整備
 については、「たまプラーザ

おだかつひさ



おだかつひさ

1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央
 大学法学部卒業(地方自治、都市政策専
 攻)国会議員秘書を経て、2003年市議
 会初当選、現在4期目。議会運営委員、健康
 福祉委員会所属、民主みらい川崎市議
 団長。好きな言葉「知行合一」、有馬在住

おだかつひさ 検索